NSW 州保健省

# dTpa ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日咳の混合ワクチン）接種

## 保護者向け資料

### オーストラリア政府は、全国予防接種プログラム（NIP）の下で、一部のワクチンを無料で提供しています。

**Q. ジフテリア・破傷風・百日咳とは何ですか？**

**ジフテリア**は細菌感染症で、感染力が強く、呼吸困難、皮膚のただれ、心筋や神経の炎症を引き起こすことがあります。

**破傷風**は細菌によって引き起こされる危険な病気です。それは神経に影響を及ぼし、痛みを伴う筋肉痙攣、開口障害、さらには肺炎や骨折（筋肉痙攣による）などの合併症を引き起こす可能性があります。

**百日咳**は、激しい咳と呼吸困難を引き起こす細菌感染症です。乳児にとっては、命に関わることがあります。年齢が上の子供や大人の場合、咳が数か月続くことがあります。

**Q. これらの病気はどのように広がりますか？**

**ジフテリア**は、咳やくしゃみ、または感染者の口、鼻、皮膚からの分泌物との接触によって広がります。

**破傷風**は、土壌に存在する細菌によって引き起こされます。それは、土壌、ほこり、肥料などに汚染された、切り傷、擦り傷、または傷口から体内に入ります。

**百日咳**は、咳やくしゃみの飛沫によって感染します。治療を受けていない場合、咳が始まってから最大３週間にわたり、他人に感染させる可能性があります。

**Q. ワクチンはどのように作用しますか？**

ワクチンは、免疫系が感染症と戦うのを助けます。予防接種を受けた人がこれらの感染症に接触した場合、免疫系がより効果的に対処できるため、その発症を予防したり、症状を軽減することができます。

**Q. このワクチンはどの程度効果的ですか？**

このワクチンはジフテリアと破傷風の予防に非常に効果的で、百日咳に対しては約 80%の予防効果があります。

**Q. 子供は何回の接種が必要ですか？**

お子さんが３回の接種を完了している場合、12 ～ 13 歳の時に **dTpa ワクチン**の追加接種を１回受ける必要があります。これにより、若年成人期まで免疫が維持されます。

お子さんがジフテリア、破傷風、百日咳のワクチンを一度も受けたことがない場合、ジフテリア・破傷風混合ワクチンを３回接種する必要があります。そのうち少なくとも１回は、百日咳のワクチンも含む必要があり、接種間隔は少なくとも 4 週間あける必要があります。

**Q. 誰がこのワクチン接種を受けるべきですか？**

すべての 10 代の若者は、ジフテリア、破傷風、百日咳を予防するために、**dTpa ワクチン**を１回接種するべきです。

この追加接種は、幼少期のワクチン接種に引き続き、免疫を強く保つために重要です。お子さんが以前にジフテリア・破傷風ワクチンを接種している場合、百日咳に対する免疫を追加するために、dTpa ワクチンを受けることができます。

**Q. このワクチン接種を受けるべきでないのは、どのような人ですか？**

次に該当する人には、このワクチンを投与しないでください。

- **以前にこのワクチンを接種した時、重度のアレルギー反応（アナフィラキシー）を起こしたことがある**
- **ワクチンの成分に対して、重度のアレルギー反応を起こしたことがある**

**Q. 妊娠中に、このワクチンの接種を受けてもいいですか？**

はい。妊娠中の方は、すべての妊娠において、妊娠 20 ～ 32 週の間にワクチンを接種すべきです。これにより生後数か月の間、赤ちゃんを守ることができます。

学校やインテンシブ・イングリッシュ・センター（IEC）でワクチン接種を受けない場合は、代わりに GP（一般医）や薬局でワクチン接種を受ける必要があります。ワクチン接種の日には、看護師が女性の学生に対して妊娠しているか、または妊娠の可能性があるかを尋ねます。もし学生が「はい」と答えた場合、ワクチンは接種されません。そのような学生には、親や医師に相談することが勧められ、サポートサービスの連絡先が提供されます。

### Q. ワクチンはどれくらい安全ですか？

オーストラリアのワクチンは非常に安全です。薬品・医薬品行政局（TGA）から承認を得る前に、安全性に関する厳しい検査を通過する必要があります。使用開始後も、TGA がワクチンの安全性を監視しています。

### Q. このワクチンには何が含まれていますか？

このワクチンには以下が微量含まれています。

- **水酸化アルミニウムおよびリン酸アルミニウム**
- **ホルムアルデヒド**
- **ポリソルベート 80**
- **グリシン**

製造工程において、牛由来の材料も使用されています。

### Q. このワクチンにはどのような副反応がありますか？

よく見られる軽度の副反応には、次のような症状が含まれます。

- **接種部位の赤み、腫れ、痛み**
- **発熱**

重篤な副反応は非常にまれです。

詳細については、health.nsw.gov.au/schoolvaccination で消費者向け医薬品情報（CMI）をご確認ください。副反応について心配な場合は、かかりつけの医師にご相談ください。

### Q. アナフィラキシーとは何ですか？

アナフィラキシーは非常にまれですが、重度のアレルギー反応です。素早く対処しなければ、意識を失ったり、死に至る場合もあります。ワクチン接種を行う医療従事者は、アナフィラキシーに対処するための訓練を受けています。

### Q. 以前のワクチン接種で副反応があった場合は、どうすべきですか？

以前のワクチン接種で、急性かつ重度のアレルギー反応がなかった限り、dTpa ワクチンを安全に接種することができます。